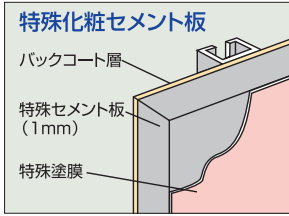
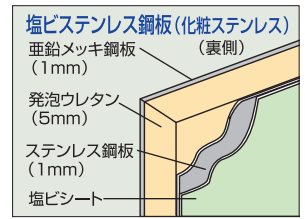
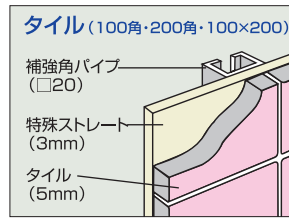
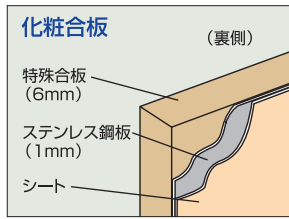
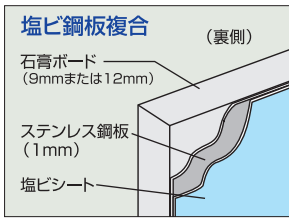
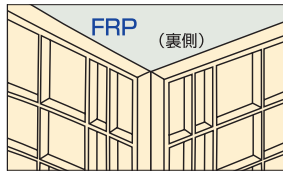


取り付け可能な壁パネル

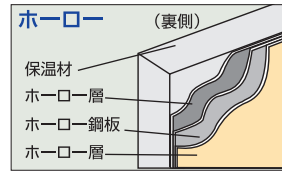
ひと口にユニットバスルームと言っても、その構造は様々です。そこで代表的なパネル断面の例をご紹介します。(メーカーにより、呼称、構造等が異なる場合があります。)



取り付け不可能な壁パネル



裏側に補強用のリブが多くあるため下穴を開けるのが困難。



下穴を開けた後のサビ防止が困難。

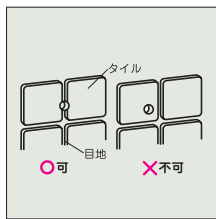
取り付け方

※壁裏に柱のないユニットバスの壁(4~12mm)に取り付けることができます。

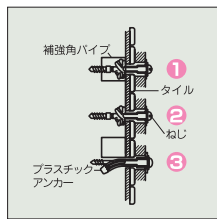
壁パネルの条件

- ▲注意 ●手すりの変色、取り付け強度の低下をさけるため、「直射日光の当たる場所」「室温60℃以上になる場所(換気乾燥機・サウナ機能付)」「常時水に浸かる場所」「壁表面が平坦ではない場所」には取り付けしないでください。
- 磁石が付く壁には取り付け可能です。(ホーローを除く)

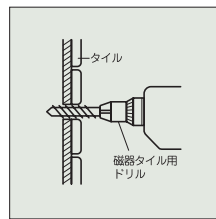
■「タイル」に取り付ける場合



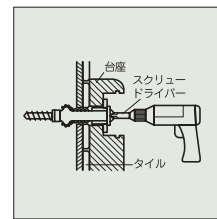
取り付け前の確認 1
下穴は目地を中心として開けてください。タイル上に下穴を開けた場合、タイルにひび割れが生じることもあります。



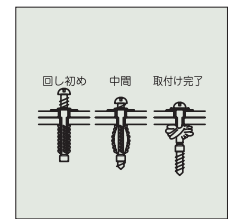
取り付け前の確認 2
①、②の場合はプラスチックアンカーが正常に作動しますが、③の場合はプラスチックアンカーのスリットからねじがはずれ、所定の締め付け強度が得られません。



下穴の切削
下穴を磁器タイル用ドリルで開け、防水のために下穴が完全に隠れるまでコーキング剤を注入します。

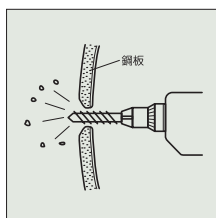


ねじの締め込み 1
下穴にプラスチックアンカーを差し込んだ後、そのねじ穴内部にもコーキング剤を注入し、そこにねじを締め込みます。

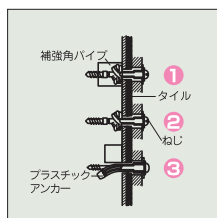


ねじの締め込み 2
ねじを締めるにつれプラスチックアンカーの壁裏部分が広がり、壁を挟み込むように固定します。
※プラスチックアンカーは、専用品のため、市販のものは使用しないでください。

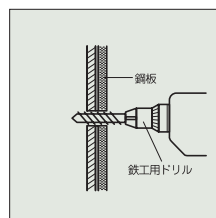
■「塩ビ鋼板複合」、「化粧鋼板」、「特殊化粧セメント板」に取り付ける場合



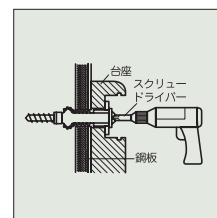
取り付け前の確認 1
下穴を開ける場合は、ドリル先を壁に押しつけないでください。下穴の内側がすり鉢状になり、うまく固定が出来ません。



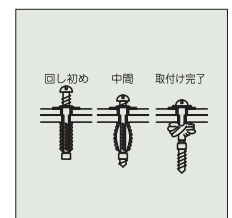
取り付け前の確認 2
①、②の場合はプラスチックアンカーが正常に作動しますが、③の場合はプラスチックアンカーのスリットからねじがはずれ、所定の締め付け強度が得られません。



下穴の切削
下穴を鉄工用ドリルで開け、穴内側に木工用アロンアルファを塗った上で、防水のために下穴が完全に隠れるまでコーキング剤を注入します。



ねじの締め込み 1
下穴にプラスチックアンカーを差し込んだ後、そのねじ穴内部にもコーキング剤を注入し、そこにねじを締め込みます。



ねじの締め込み 2
ねじを締めるにつれプラスチックアンカーの壁裏部分が広がり、壁を挟み込むように固定します。
※プラスチックアンカーは、専用品のため、市販のものは使用しないでください。

※コーキング剤を別途準備してください。

●部別分類

玄関まわり

階段・廊下

リビング・居室

キッチン・水まわり

窓・サッシ

屋外・ベランダ

基礎・構造